

甲府の子どもの教育総合推進校

～魅力ある学校づくり（不登校対策）～

不登校対策推進校の指定【市内2中学校】

経緯

- 甲府市では、これからの時代を担う子どもの教育を図るため、小学校及び中学校において家庭・地域と連携し、特色ある学校づくりを目指す中で、甲府の子どもの教育の中核である「思い遣る心」を育てるために総合推進校を指定し、事業実践を行っている。年々増加している不登校に関して、喫緊の課題としてとらえ、不登校の未然防止や改善に向けた取組を研究するため、令和5年度に、市内の**南西中学校**と**北西中学校**を不登校対策推進校として指定した。

研究内容

- 市単独雇用教員（不登校対策）の活用方法
- 校内教育支援センター**や別室、オンライン授業等による不登校（傾向）生徒への学習指導
- SSWやSC、あすなろ学級との連携
- わかる授業の提供や学級活動等による居場所づくり、絆づくり
- オンライン授業やフリースクールでの学びを指導要録上出席扱いにする基準作り 等

不登校対策推進校の取組

- ・不登校（傾向）の生徒や教室に入れない生徒の居場所、学びの場。
- ・必ずしも学校（教室）復帰を目標とせず、将来の社会的自立につながる指導（学習指導等）を実施。
- ・少しでも生徒の登校につながるような居心地のよい空間の提供。
- ・焦らせない支援、生徒本人の意向を尊重した支援の実施。

校内教育支援センター
「ほっとルーム」



市単教員



- ・校内教育支援センターの担当者。
- ・校内教育支援センターの適切な運営。
- ・通常の学級や特別支援学級の教科指導は原則行わない。
- ・担任や不登校担当、管理職と不登校生徒に関する情報や状況の共有。
- ・不登校（傾向）生徒やその保護者との面談、連絡調整。
- ・該当生徒の校内教育支援センターへの登級支援。
- ・SSW、SC、あすなろ学級等との必要に応じた連携。

- ・わかる授業の提供。
- ・自己有用感を高める集団づくり。
- ・エモーションボードの活用。
- ・スクリーニングシートの活用。
- ・個別支援カードの活用。
- ・欠席3日連続で家庭訪問の実施。
- ・オンラインでの授業参加、放課後登校、別室登校等の促し。

未然防止
初期対応



保護者支援



- ・保護者への積極的な情報提供。
- ・保護者の不安や心配の解決、改善への支援（SSWや関係機関との連携）。
- ・保護者や生徒本人の意向に沿った対応（別室登校、放課後登校、オンライン授業、あすなろ学級、フリースクール等）の検討。

ほっとルームの様子

南西中学校



北西中学校

